

トラクター作業 安全のススメ

目指せ！ 農作業事故ゼロ

春・秋はトラクターを利用する機会が多くなり、
農作業事故が発生しやすくなります！

次のポイントを守り、安全・安心な農作業を実践しましょう！

①作業前における機械の点検・整備及び周辺環境の確認はしっかり行いましょう！

傾斜地だけでなく、平坦地でも条件によっては転倒します。作業前にほ場内の凹凸や軟弱状態、
確実な旋回ができる場所等を確認し安全な操作をしましょう。

②収納式安全フレームは運転時には必ず立てて使用しましょう！

安全フレームを倒したまま走行すると転倒事故を起こした時に
機体の下敷きとなる死亡事故に繋がりがやすく非常に危険です。

③シートベルトは必ず締めましょう！

万が一の転倒の時に、放り出されてトラクターの
下敷きとなるのを防ぎます。

④作業時以外は左右独立ブレーキを連結しましょう！

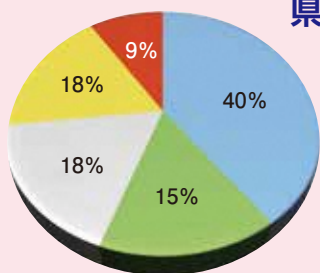
道路走行中、誤って片ブレーキになると、道路からの転落事故に繋がりが危険です。

⑤機械点検・清掃時はエンジンを止めましょう！

エンジンをかけたまま作業部に近づくと作業部に腕や足、洋服が巻き込まれる危険があります。
必ず、エンジンを停止して作業してください。



県内の農作業死亡事故発生要因(H16～R3年)



農業機械使用時の事故
■トラクタ
■耕転機
■その他農機具
農業機械使用時以外の事故
■その他(火傷など)
■熱中症

農業機械使用時の死亡事故で最も多いトラクタによる死亡事故のうち、**転落・転倒**による原因が**約75%**を占めます！



公道走行時の他車との衝突事故も発生しているので「低速車マーク」等で注意喚起しましょう！

福島県農作業安全運動展開中！

重点推進期間

[春] 令和4年4月1日～5月31日

[秋] 令和4年9月1日～10月31日

福島県農作業安全運動推進本部

福島県、福島県農業協同組合中央会、福島県農業共済組合、
全国農業協同組合連合会福島県本部、全国共済農業協同組合連合会福島県本部、
福島県農業機械商業協同組合、一般社団法人福島県農業会議、福島県担い手育成総合支援協議会

熱中症対策はあなたの命を守ります!

農作業中の暑さ対策は必ず実行!

県内では毎年5月上旬から熱中症が発生しています。
農業の場合、屋外だけでなくハウス内でも発症する例が多くみられます。
普段から天気予報をチェックし、熱中症対策に取り組みましょう!

◆熱中症について

高温多湿な環境下において、体内の水分及び塩分(ナトリウム)のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして発症する障害の総称です。

○熱中症の主な症状

立ちくらみ、大量の発汗
筋肉痛・筋肉の硬直

頭痛、気分の不快、
吐き気嘔吐、
倦怠感、虚脱感...

高体温、意識障害
痙攣、手足の運動障害

重症度

小

大

◆主な熱中症対策(基本対策)

- 気温の高い時間帯、体調がすぐれない時は作業を行わない。
- 作業は複数で行い、お互いの体調変化に気をつける。
- 1人で作業を行う時は家族や周囲の人に伝えてから行う。
- 通気性の良い服装で作業し、帽子は必ずかぶる。
- 1時間に1回、10分を目安に休憩を取る。
- 1時間で500mlペットボトル半分以上の水分を少しずつ飲む。



◆暑熱対策用具の活用

(令和元年度福島県農業総合センター研究成果より)

- 農作業中に空調服(ファン付き作業服)を着用することで、作業服内部の温度が外気温に比べ1.2~4.6℃低くなり、快適に作業ができます。

詳しくはこちら→ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/374994.pdf>



◆新型コロナウイルス対策による「マスク着用」の留意点

- 着用時には、強い負荷の作業は避け、喉がかわいていなくてもこまめな水分補給を心がける。
- 周囲の人と2m以上の距離が確保できる場合等には、状況に応じてマスクを外す。



◆MAFFアプリで熱中症警戒アラートを受け取ろう!

- MAFFアプリとは、農業に携わる皆様に役立つ情報を農林水産省から直接お届けするスマホ用アプリです。

